

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-52C	12-037	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)		
<p>Body mass, tobacco smoking, alcohol drinking and risk of cancer of the small intestine—a pooled analysis of over 500,000 subjects in the Asia Cohort Consortium.</p> <p>体格、喫煙、飲酒と小腸がん—Asia Cohort Consortium による 500,000 人以上のプール解析</p>		
執筆者		
<p>Boffetta P, Hazelton WD, Chen Y, Sinha R, Inoue M, Gao YT, Koh WP, Shu XO, Grant EJ, Tsuji I, Nishino Y, You SL, Yoo KY, Yuan JM, Kim J, Tsugane S, Yang G, Wang R, Xiang YB, Ozasa K, Nagai M, Kakizaki M, et al.</p>		
掲載誌		
Ann Oncol. 2012 Jul;23(7):1894-8.		
キーワード		
飲酒、BMI、前向き研究、小腸がん、喫煙		
要 旨		
<p>目的：</p> <p>小腸がんの病因において、喫煙、飲酒、体格のエビデンスは主にヨーロッパとアメリカからの症例対照研究に基づいている。</p>		
<p>方法：</p> <p>中国、日本、韓国、シンガポール、台湾の 12 のコホート研究、平均 10.6 年追跡した 50 万人以上からなるデータを統合し、BMI、喫煙（男性のみ）、飲酒と小腸がんの関連についてハザード比を用いて検討した。</p>		
<p>結果：</p> <p>計 134 例の小腸がん罹患が観察された（腺がん：49 例、カルチノイド：11 例、他の組織型：46 例）。BMI=22.6-25.0 に比し、BMI>27.5 のハザード比は 1.50（95%信頼区間：0.76-2.96）と統計学的に有意ではない上昇傾向が観察された。喫煙者との関連は示されなかった。非飲酒者に比し、>400g/週のエタノールを摂取する男性飲酒者のハザード比は 1.57（0.66-3.70）であった。</p>		
<p>結論：</p> <p>本研究は BMI の上昇が小腸がんのリスクファクターであるだろうという仮説を支持した。飲酒の病的役割が示された。本結果は小腸がんの疫学は結腸直腸がんの疫学と似ているという既存のエビデンスを強固にする。</p>		